

学会抄録

第183回京都皮膚科泌尿器科集談会 (岩下教授歓迎記念会)

昭和31年2月18日 於 京大皮, 泌科講堂
(泌尿器科の部のみ)

1 先天性単側腎の4例 日野豪, 麻生田幸雄 (京大)

最近経験した先天性単側腎の4例につき報告した。之等は、臨床検査により診断したもので、2例についてはさらに之を手術によつて確かめた。之を外來患者総数に比較すると凡そ1000:1になる。本症に於ては生殖器畸形が相当の高率で認められるというが、我々の経験した4例については、種々検査の結果之を確実に証明し得たものは1例もなかつた。尚、1例について膀胱三角部半側欠損が、他の1例について膀胱三角部異常が認められた。

2 1, 2薬剤の泌尿器科的副作用について 酒徳治三郎, 八田栄造 (京大)

A) DIAMOX

42才男子。緑内障にて眼圧低下剤としてDIAMOX(2-acetyl-amino-1, 3, 4-thiadiazole-5-sulfonamide)を内服した後に塩尿酸を発生した。

B) メラミン

7才8ヶ月男児、ネフロネフリチスにて、利尿剤としてメラミン(triamino triazine, テオハルン)を使用していた所、尿酸を主成分とする尿道結石を形成した。

3 尿管腫瘍の1例 大橋二郎, 久保泰徳 (京府大)

子宮外妊娠手術後に発生せる尿管腫瘍に対し、外科的療法によつて比較的簡単に之を治癒せしめた例を報告し、併せてその発生機転、治療、予防等について述べた。

4 半腎切除の一例 後藤薫, 片村永樹 (京大)

34才の♀で、右側のみ完全重複腎であつて、その下位腎の上下腎蓋部に結核のある症例で、下位腎のみ切除

し、上位腎を残すことが出来たが、これについて術前、術後の経腹的大動脈撮影を中心に、種々のレ線写真、手術時の所見シエーマ等を供覧し、報告した。

5 腎臓結核のストマイ治療に偶発した無尿症例 石神養次, 高木峻徳, 森昭 (大坂医大)

尿路結核に対するストマイの副作用として腎盂、尿管の狭窄を起し、無尿を来す事は周知の事であるが、吾々は2例経験し、その経過に於て2~3の興味ある知見を得、報告した。第1例は26才♀肺結核でストマイ170g使用し突然無尿を来し、尿管カテーテリスムスにより成功し、第2例は12才♀、右腎結核で腎摘出後、ストマイ5.5g使用後に残存腎の尿管下端の狭窄による無尿を来し、尿管成形術、腎瘻術の手術を施行するも救助し得ず。

6 後部尿道欠損に対する新しい手術術式 ante-pubic vesico-ileal-neourethrostomy 木村忠司, 巽亘 (京大第二外科), 原田直彦 (大阪市大外科)

膀胱頸部、後部尿道の欠損には、従来、尿管腸移植術、膀胱外瘻等の姑息的処置が行われていたが、私達はもつと積極的に、尿路を再建して尿道より尿を排泄せしめ、更に尿失禁を来さないと言う、先人の報告の全くない新しい術式“恥骨前小腸間置膀胱尿道吻合術”なる術式を創案した。

手術は廻腸分節を膀胱頂部に縫合し、他端を恥骨前皮下に於て、残存尿道中心端と吻合するのである。之により尿路は完全に再建され、尿は亀頭から排泄される。更に恥骨前方で恥骨方向に圧迫する圧迫帯の装用により、腸管分節部の通過障害を来さしめ、尿失禁を防ぐ。乃ち随意的排尿が圧迫帯の着脱により得られる。

尿道と腸とに吻合の成立する事を実証した事実は、

臨床止大きな応用価値を有し、注目せられねばならない。

7 膀胱三角部異常症の手術例 多田茂, 杉山喜一(京大)

尿失禁を主訴とする高度の膀胱三角部異常症に, Sampson 氏法を用いて両側尿管移植術を試みて成功し

た症例に就て報告した。

8 Xylocain Jelly による尿道麻酔 小田完五, 六車勇二(府大)
臨床皮泌10巻1号75頁参照。

追加 後藤廣(京大) 泌尿紀要2巻1号(昭和31年1月号)を参照。

編 集 後 記

秋には例年の如く西部, 東部, 中部と地方会が開かれ, いずれも盛会であつた事は御同慶の至りである。我々が関係した中部学会にては京大後藤助教授「泌尿器科X線検査に於ける最近の経験」, 三重大矢野教授「尿路結石に関する二, 三の問題」, 岐阜大近藤教授「男子性器結核の研究」, 名市大岡教授「水腎の機能回復にていて(臨床的考案)」の四つの特別講演が行われたがそのいずれもが直剣な努力を以て為されたる広く深い研究であり, 真に頭の下がる想いがした。研究と云うものは実にけわしい路であると共に尊いものである事を痛感した。地方会で然も四題も行つたのはもつたいない様であつたが, それだけこの学会の意義を重くしたものであつた。講演者各位に深く感謝する。その他各地からの一般演説も夫々感銘深いものであつた。尚米国留学中の宮崎重君の御世話にて借りた学術映画とバイエル社の映画も会員を裨益する所が大きかつた。懇親会も盛大であり, 凡ての点に於て本学会を有意義に終了出来た事は全く諸方面のおかげである。次回は大阪市大が引受けられ, 次々回は京都府大と決定した。



若し世界中が軍備を全く止めてその費用を学問の研究や人間の幸福のために使うならばいかに美しい世界となるであろうか。今回の南極探検に世界各国が共同して学問的研究を始める事になつたが, この様な仕事こそ人類が行うべきものである。世界各国が人類の幸福のために協力して為すべき仕事はたくさんある筈であるが, そんな事を望むのは全く夢であろうか。日本は貧乏国である。然るに軍備に莫大な予算を使う。日本が僅かの軍備を増しても世界状況から見れば何の意味もなからう。軍備は最少限に止めて, 国の予算は国民の幸福や学問研究のために向けられるべきである。国民医療は好むと好まざるとに拘らず社会保険の方向に行く。即ち社会保険は医療上極めて重要な地歩を占める様になる。それだけに医療が学問から離れてはならぬ。医療即ち社会保険は学問と益々密接に結びつく必要がある。研究面を含まない様な現在の社会保険は今後は変革されねばならぬ。そのために金がかかる。そこで軍備に費す金が惜しい。之も夢物語であろうか。

購 読 要 項

1. 発行は隔月(年6回)とする。
2. 会員は年間料金600円を前納する。1冊料金100円, 払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部, 或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ), 住所(雑誌郵送先), 勤務先, 職地位, 自宅開業の別, 送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説, 原著, 臨床報告, その他, 寄稿者は本会々員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き, 当用漢字, 平仮名, 新仮名使いを用い, 片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表, 附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。
例. 中野: 泌尿器要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し, 之には欧文の標題, 所属機関名, ローマ字著者名を付け, なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円, それ以上の頁, アート頁, 図表, 写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部